

まつしん

MatsuShin
Business
Report

No. 148

景況 レポート

CONTENTS

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

業種別の業況

⑦ ⑧

経済指標

⑨ ⑩

特別調査

「中小企業におけるSDGs(持続可能な開発目標)の取組状況について」



ナイスコミュニケーション

二本松信用金庫

調 査 要 綱

1. 調査時期 2022年 9月
2. 調査対象期間 2022年7～9月期（実績）
2022年10～12月期（予想）
3. 調査方法 当金庫職員による聴き取りおよび留め置き調査
4. 調査対象 当金庫取引先事業所
5. 調査対象企業数・有効回答数等の内容

区 分	調査対象企業数	有 効 回 答 数	有効回答率(%)
製 造 業	59	59	100.0%
小 売 業	58	58	100.0%
サ ー ビ ス 業	48	48	100.0%
建 設 業	50	50	100.0%
合 計（総 合）	215	215	100.0%

6. 分析の方法
















この調査は、各質問項目に企業の総回答数に対する「良い（増加等）」および「やや良い（やや増加等）」と回答した企業の割合と、「やや悪い（やや減少等）」および「悪い（減少等）」と回答した企業の割合との差D Iを中心に分析を行っています。

※ D I（業況判断）＝「良い・やや良い」－「悪い・やや悪い」企業数構成比（％）

傾向値＝（4期前～前期までの合計＋3期前～今期までの合計）÷8

傾向値は4期間2段階の移動平均法で算出した数値です。

概 況(総合)

区 分	2022年 4月～6月	2022年 7月～9月	2022年 10月～12月予想	概 要(総合)
総 合				2022年7～9月期（今期）の業況判断D Iは▲29.8となり、前期比9.8ポイント上昇し、3期連続の改善となりました。 主要指標D Iは、売上額が▲15.8（前期比1.2ポイント悪化）、収益が▲26.5（同1.0ポイント悪化）、資金繰りは▲15.8（同1.2ポイント悪化）となりすべての主要指標がわずかに悪化しました。設備投資実施企業割合は28.8%となり、前期比1.4ポイント減少しました。
製 造 業				業種別の業況判断D Iは、製造業が▲20.3（同13.6ポイント改善）、小売業が▲58.6（同12.8ポイント改善）サービス業が▲18.8（同11.0ポイント改善）、建設業が▲18.0（同2.0ポイント改善）となり3業種で今期の業況は改善しました。
小 売 業				来期の予想業況判断D Iは、2.8ポイント悪化の▲32.6となり業況の悪化が予想されます。
サ ー ビ ス 業				また、業種別の予想業況判断D Iは、製造業が▲16.9（同3.4ポイント改善）、小売業が▲65.5（同6.9ポイント悪化）、サービス業が▲27.1（同8.3ポイント悪化）、建設業が▲18.0（今期と変わらず）となり3業種の業況が悪化する予測ですが、製造業の業況の改善が期待されます。
建 設 業				

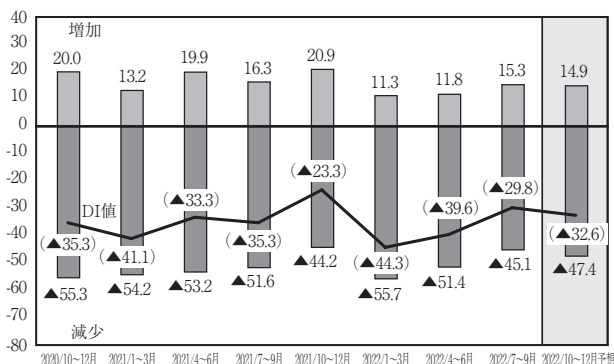
（このお天気マークは、景気指標を総合判断したものです。）

指数 31以上 30.9～21 20.9～10 9.9～-9.9 -10～-20.9 -21～-30.9 -31以下
 好調 ←        → 低調

●業況判断 DI(「良い」-「悪い」社数構成比、%)

	2020/10~12月	2021/1~3月	2021/4~6月	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月	2022/4~6月	2022/7~9月	2022/10~12月予想
業況判断	▲ 35.3	▲ 41.1	▲ 33.3	▲ 35.3	▲ 23.3	▲ 44.3	▲ 39.6	(▲36.8) ▲ 29.8	▲ 32.6

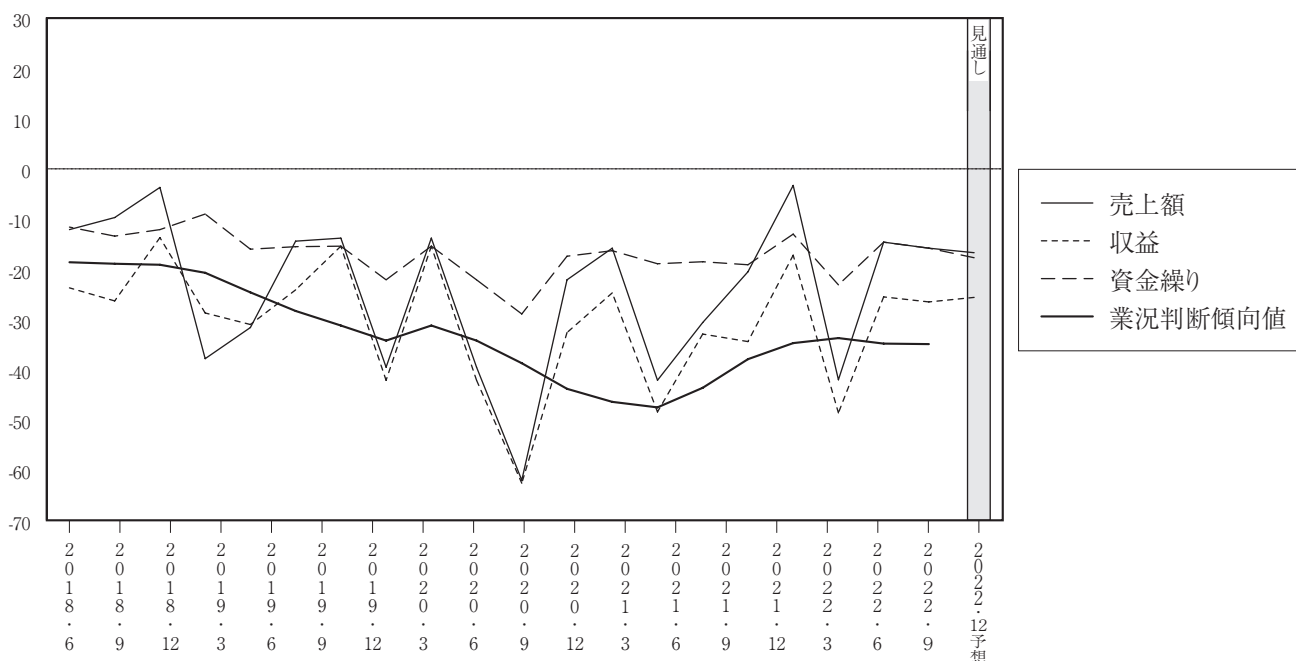
●業況判断



●主要指標 DI(「増加・上昇」-「減少・下降」社数構成比、%)

	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月	2022/4~6月	2022/7~9月	2022/10~12月予想
売上額	▲ 20.5	▲ 3.3	▲ 42.0	▲ 14.6	(▲ 14.2) ▲ 15.8	▲ 16.7
収益	▲ 34.4	▲ 17.2	▲ 48.6	▲ 25.5	(▲ 27.8) ▲ 26.5	▲ 25.6
資金繰り	▲ 19.1	▲ 13.0	▲ 23.1	▲ 14.6	(▲ 19.3) ▲ 15.8	▲ 17.7
業況判断傾向値	▲ 37.9	▲ 34.7	▲ 33.7	▲ 34.8	▲ 34.9	

●指標の推移状況(DI値)



●経営上の問題点

(単位：%、複数回答)

順位	2022年 4月~6月	2022年 7月~9月
1	売上の停滞・減少 51.4	売上の停滞・減少 47.4
2	利幅の縮小 28.3	利幅の縮小 26.5
3	材料価格上昇 26.9	人手不足 26.0
4	人手不足 24.1	材料価格上昇 24.7
5	仕入先からの値上げ要請 17.5	仕入先からの値上げ要請 20.9

・企業数割合(上位5項目)

●当面の重点経営施策

(単位：%、複数回答)

順位	2022年 4月~6月	2022年 7月~9月
1	経費の節減 51.9	経費の節減 53.0
2	人材の確保 33.0	人材の確保 32.6
3	販路の拡大 28.8	販路の拡大 23.3
4	技術力の強化 17.9	技術力の強化 20.5
5	教育訓練強化 13.7	情報力の強化 13.5

・企業数割合(上位5項目)

製造業

●業況判断 DI(「良い」-「悪い」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月	2022/4~6月	2022/7~9月	2022/10~12月予想
業況判断	▲ 20.0	▲ 13.6	▲ 24.1	▲ 33.9	▲ 20.3	(▲27.1) ▲ 16.9

●設備投資 DI(「過剰」-「不足」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月	2022/4~6月	2022/7~9月	2022/10~12月予想
設備の水準	▲ 21.7	▲ 25.4	▲ 17.2	▲ 25.4	▲ 23.7	(▲ 23.7) ▲ 23.7
設備投資した企業割合				設備投資予定のある企業割合		
	30.5%			33.9%		

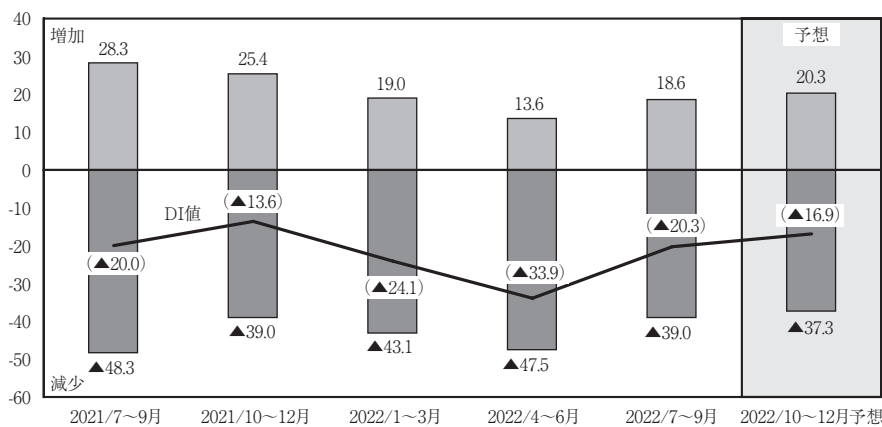
●主要指標 DI(「増加・上昇」-「減少・下降」社数構成比、%)

[前期と比べて]

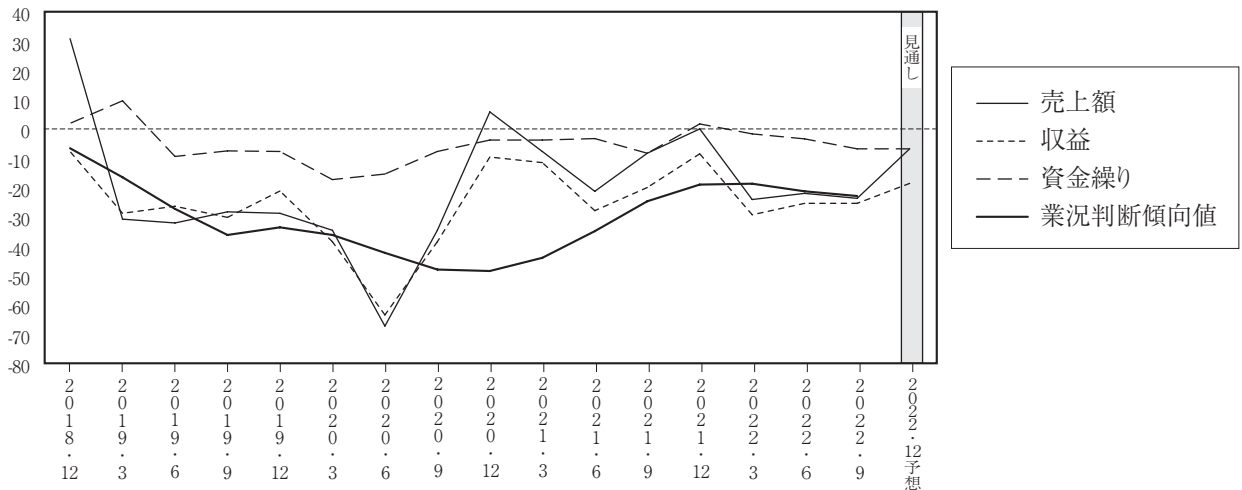
カッコ内は前回調査時予想

	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月	2022/4~6月	2022/7~9月	2022/10~12月予想
売上額	▲ 8.3	0.0	▲ 24.1	▲ 22.0	(▲8.5) ▲ 23.7	▲ 6.8
収益	▲ 20.0	▲ 8.5	▲ 29.3	▲ 25.4	(▲11.9) ▲ 25.4	▲ 18.6
資金繰り	▲ 8.3	1.7	▲ 1.7	▲ 3.4	(▲6.8) ▲ 6.8	▲ 6.8

●業況判断



●指標の推移状況(DI値)



今期の業況判断DIは▲20.3となり、前期から13.6ポイント改善しました。

主要指標DIは、売上額は▲23.7(前期比1.7ポイント悪化)、収益▲25.4(前期と変わらず)、資金繰りは▲6.8(同3.4ポイント悪化)となり主要指数は売上額・資金繰りにおいて悪化しました。また、今期設備投資をした企業は30.5%となり前期比6.8ポイント減少しました。

来期の予想DIは、売上額が16.9ポイント増加の▲6.8、収益が6.8ポイント増加の▲18.6、資金繰りが今期と変わらず▲6.8となり、主要指数で売上額・収益が大きく改善し経営環境の改善が予想されます。また、業況判断予想DIは3.4ポイント増加の▲16.9となりました。

●経営上の問題点

(単位：%、複数回答)

順位	2022年 4月~6月	2022年 7月~9月
1	材料価格の上昇 54.2	材料価格の上昇 50.8
2	売上げの停滞・減少 50.8	売上げの停滞・減少 44.1
3	利幅の縮小 25.4	利幅の縮小 32.2

●当面の重点経営施策

(単位：%、複数回答)

順位	2022年 4月~6月	2022年 7月~9月
1	販路の拡大・経費削減 49.2	販路の拡大 42.4
2	人材の確保 32.2	経費の削減 39.0
3	情報力を強化 25.4	情報力の強化 35.6

小 売 業

●業況判断 DI(「良い」-「悪い」社数構成比、%)

	カッコ内は前回調査時予想					
	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月	2022/4~6月	2022/7~9月	2022/10~12月予想
業況判断	▲64.9	▲39.7	▲77.2	▲71.4	▲58.6	▲65.5

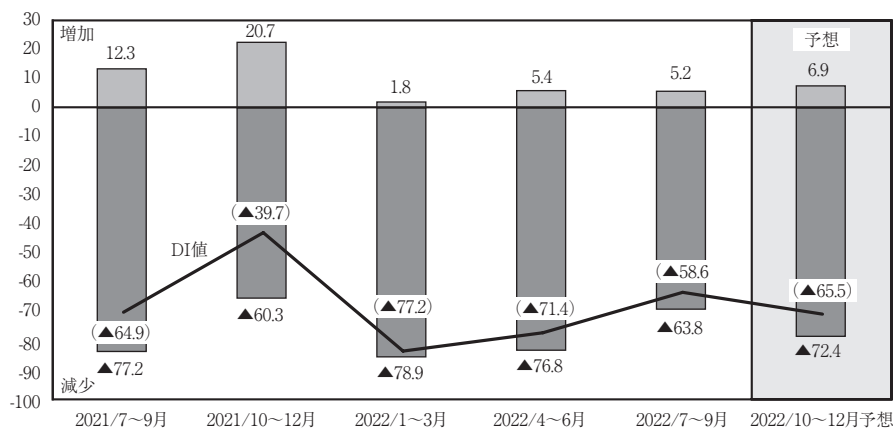
●設備投資 DI(「過剰」-「不足」社数構成比、%)

	カッコ内は前回調査時予想					
	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月	2022/4~6月	2022/7~9月	2022/10~12月予想
設備の水準	▲17.5	▲17.2	▲10.5	▲16.1	▲10.3	▲8.6
設備投資した企業割合	24.1%			20.7%		

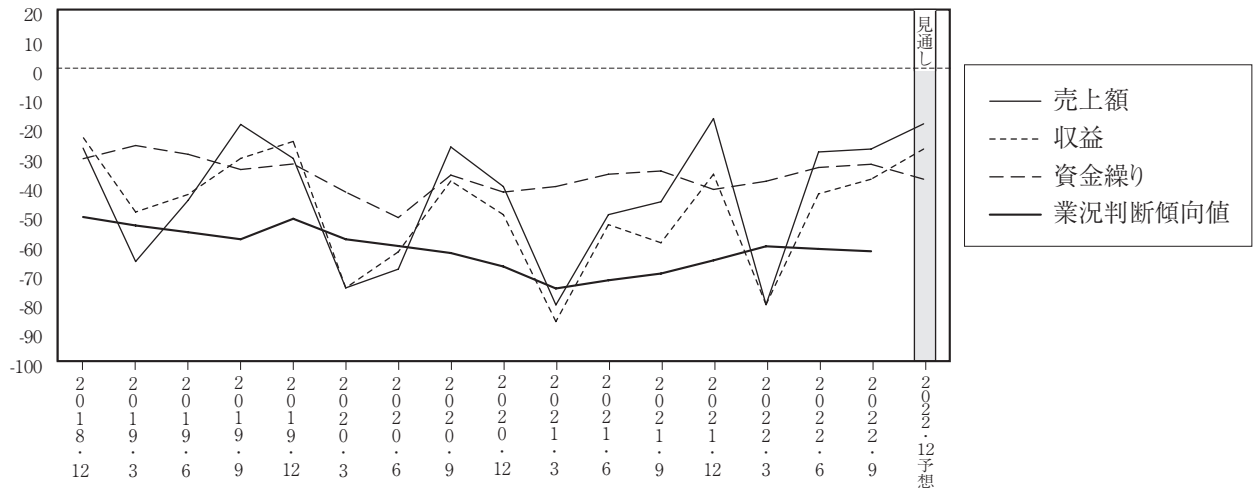
●主要指標 DI(「増加・上昇」-「減少・下降」社数構成比、%)

	[前期と比べて] カッコ内は前回調査時予想					
	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月	2022/4~6月	2022/7~9月	2022/10~12月予想
売上額	▲45.6	▲17.2	▲80.7	▲28.6	▲27.6	▲19.0
収 益	▲59.6	▲36.2	▲80.7	▲42.9	▲37.9	▲27.6
資金繰り	▲35.1	▲41.4	▲38.6	▲33.9	▲32.8	▲37.9

●業況判断



●指標の推移状況(DI値)



今期の業況判断DIは▲58.6となり前期から12.8ポイント改善しました。
 主要指標DIは、売上額が▲27.6（前期比1.0ポイント改善）、収益が▲37.9（同5.0ポイント改善）、資金繰りは▲32.8（同1.1ポイント改善）となり2期連続で主要指数全てが改善しました。また、今期設備投資をした企業は24.1%と前期比6.2ポイント増加しました。

来期の予想DIは、売上額が8.6ポイント増加の▲19.0、収益が10.3ポイント増加の▲27.6、資金繰りが5.1ポイント減少の▲37.9となり、売上額と収益の増加が期待されますが、資金繰りの悪化が予想されます。また、業況判断予想DIは6.9ポイント減少の▲65.5となり来期の業況の悪化が予想されます。

●経営上の問題点

順位	2022年 4月~6月	2022年 7月~9月
1	売上の停滞・減少 69.6	売上の停滞・減少 62.1
2	仕入先からの値上げ要請 44.6	仕入先からの値上げ要請 50.0
3	利幅の縮小 32.1	利幅の縮小 27.6

●当面の重点経営施策

順位	2022年 4月~6月	2022年 7月~9月
1	経費節減 58.9	経費節減 56.9
2	品揃え改善・売れ筋商品を取り扱う 25.0	品揃え改善 34.5
3	宣伝・広告強化 21.4	売れ筋商品を取り扱う 24.1

サービス業

●業況判断 DI(「良い」-「悪い」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月	2022/4~6月	2022/7~9月	2022/10~12月予想
業況判断	▲47.9	▲39.6	▲39.6	▲29.8	▲18.8	▲27.1

●設備投資 DI(「過剰」-「不足」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月	2022/4~6月	2022/7~9月	2022/10~12月予想
設備の水準	▲16.7	▲18.8	▲20.8	▲17.0	▲8.3	▲10.4
設備投資した企業割合	35.4%			31.2%		

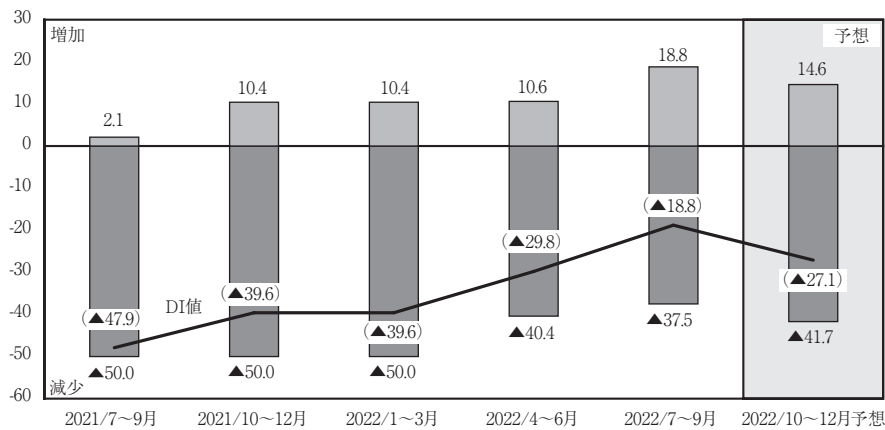
●主要指標 DI(「増加・上昇」-「減少・下降」社数構成比、%)

(前期と比べて)

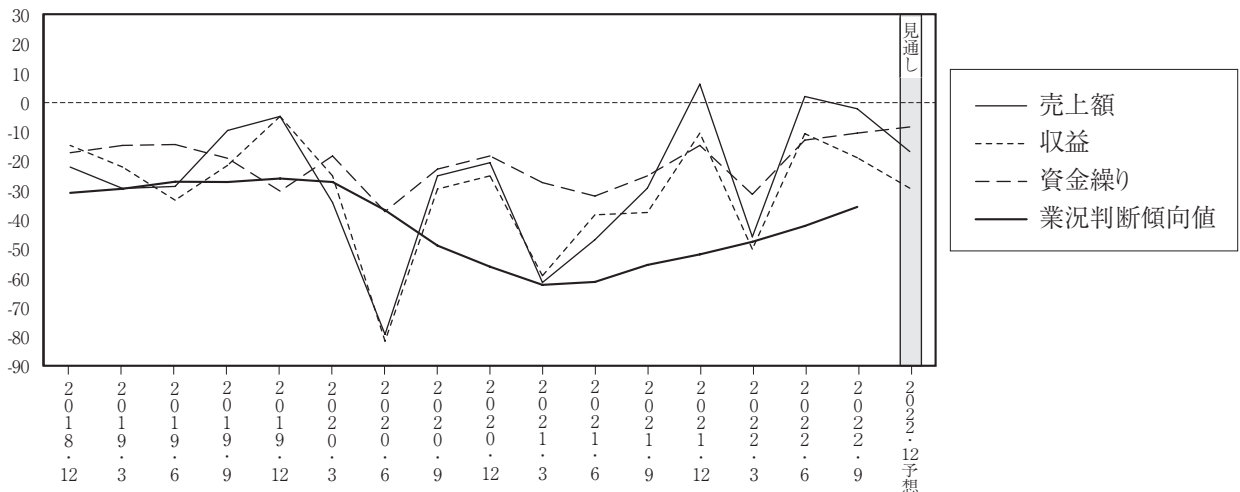
カッコ内は前回調査時予想

	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月	2022/4~6月	2022/7~9月	2022/10~12月予想
売上額	▲29.2	6.3	▲45.8	▲2.1	2.1	▲16.7
収益	▲37.5	▲10.4	▲50.0	▲10.6	▲18.8	▲29.2
資金繰り	▲25.0	▲14.6	▲31.3	▲12.8	▲10.4	▲8.3

●業況判断



●指標の推移状況(DI値)



建設業

●業況判断 DI(「良い」-「悪い」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月	2022/4~6月	2022/7~9月	2022/10~12月予想
業況判断	▲8.0	0.0	▲34.7	▲20.0	(▲22.0) ▲18.0	▲18.0

●設備投資 DI(「過剰」-「不足」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月	2022/4~6月	2022/7~9月	2022/10~12月予想
設備の水準	▲2.0	▲16.0	▲8.2	▲4.0	(▲10.0) ▲4.0	▲6.0
設備投資した企業割合				設備投資予定のある企業割合		
	26.0%			32.0%		

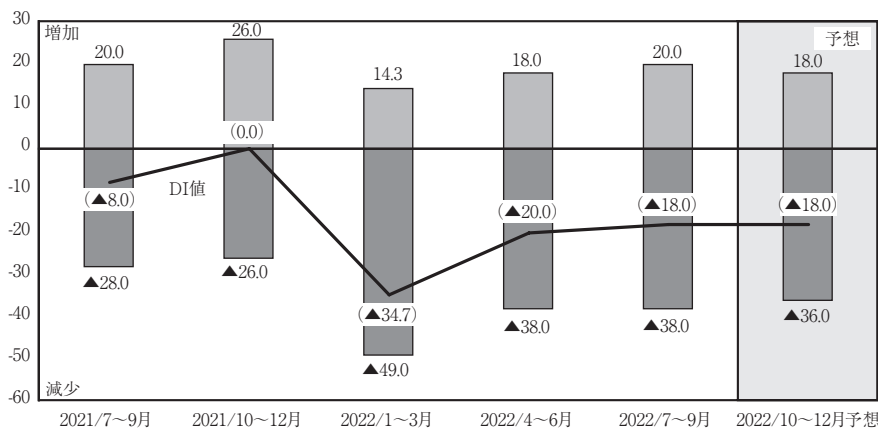
●主要指標 DI(「増加・上昇」-「減少・下降」社数構成比、%)

[前期と比べて]

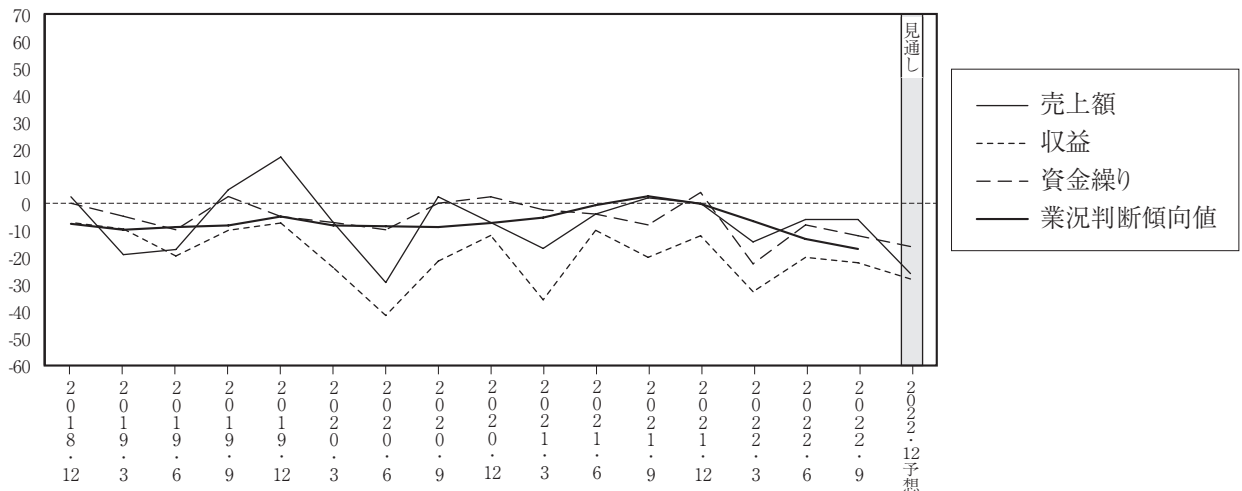
カッコ内は前回調査時予想

	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月	2022/4~6月	2022/7~9月	2022/10~12月予想
売上額	2.0	0.0	▲14.3	▲6.0	(▲4.0) ▲6.0	▲26.0
収益	▲20.0	▲12.0	▲32.7	▲20.0	(▲24.0) ▲22.0	▲28.0
資金繰り	▲8.0	4.0	▲22.4	▲8.0	(▲14.0) ▲12.0	▲16.0

●業況判断



●指標の推移状況(DI値)



今期の業況判断DIは▲18.0となり前期比20ポイント改善しました。

主要指標DIは、売上額が▲6.0（前期と変わらず）、収益が▲22.0（前期比20ポイント悪化）、資金繰りが▲12.0（同4.0ポイント悪化）となり収益と資金繰りがわずかに悪化しました。また、今期設備投資をした企業は26.0%となり14.0ポイント減少しました。

来期の予想DIは、売上額は20.0ポイント減少の▲26.0、収益は6.0ポイント減少の▲28.0、資金繰り4.0ポイント減少の▲16.0となりすべての主要指数が悪化し、売上額の大きな減少が予想されます。また、業況判断予想DIは今期と変わらず▲18.0となりました。

●経営上の問題点

(単位：%、複数回答)

順位	2022年 4月~6月	2022年 7月~9月
1	材料価格の上昇 78.0	材料価格の上昇 66.0
2	人手不足 42.0	人手不足 46.0
3	売上停滞・減少 30.0	利幅の縮小 売上停滞・減少 28.0

●当面の重点経営施策

(単位：%、複数回答)

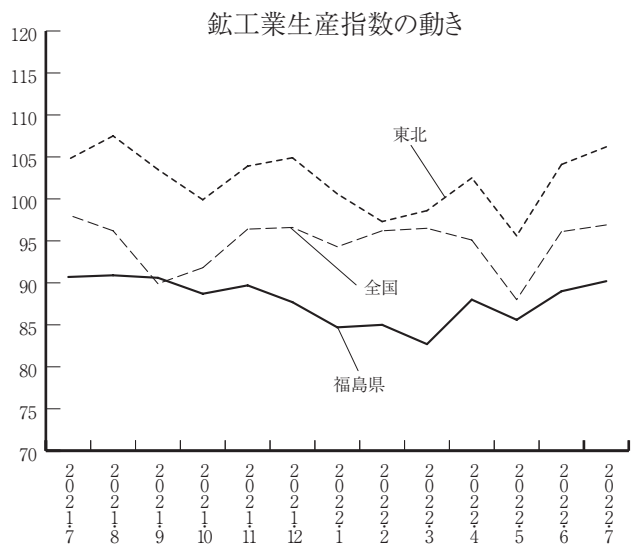
順位	2022年 4月~6月	2022年 7月~9月
1	人材の確保 54.0	経費削減 54.0
2	経費削減 50.0	人材の確保 52.0
3	技術力の強化 48.0	技術力の強化 50.0

経 済 指 標

鉱工業生産指数（生産）

平成27年(2015年)=100.0

	福島県	東北	全国
2021年 7	90.7	104.7	98.1
8	90.9	107.5	96.2
9	90.6	103.5	89.9
10	88.7	99.9	91.8
11	89.7	103.9	96.4
12	87.7	104.9	96.6
2022年 1月	84.7	100.6	94.3
2	85.0	97.3	96.2
3	82.7	98.6	96.5
4	88.0	102.5	95.1
5	85.6	95.6	88.0
6	89.0	104.1	96.1
7	90.2	106.2	96.9

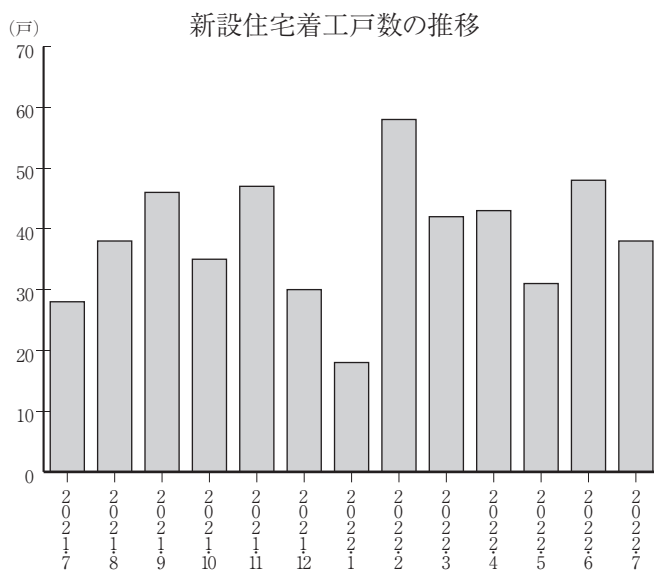


(資料:県統計課産業統計)

安達地方新設住宅着工戸数

(単位:戸)

	二本松市	本宮市	安達郡 (大玉村)	合計
2021年 7	19	8	1	28
8	17	15	6	38
9	15	24	7	46
10	13	15	7	35
11	24	17	6	47
12	7	20	3	30
2022年 1月	6	8	4	18
2	20	17	21	58
3	24	13	5	42
4	11	27	5	43
5	10	17	4	31
6	18	26	4	48
7	27	10	1	38

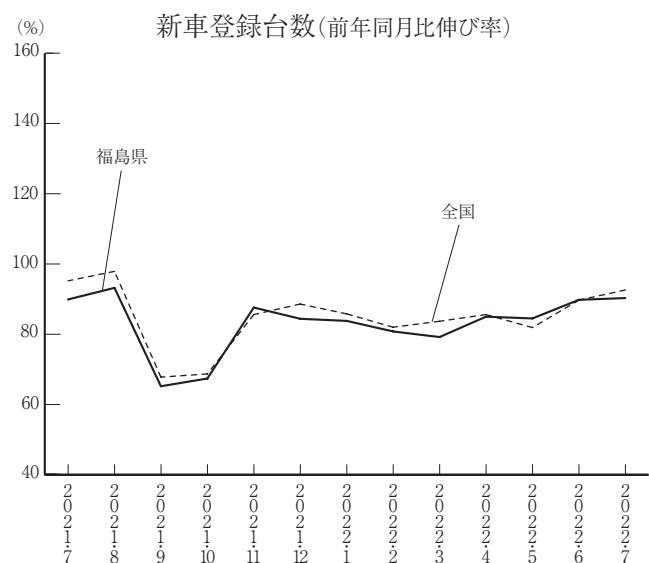


(資料:県土木部建築指導課)

新車登録台数(乗用車・トラック・バス・軽自動車含む)

(単位:台、%)

	福島県		全国	
	台数	前年比%	台数	前年比%
2021年 7	5,646	89.9%	377,445	95.2%
8	4,692	93.2%	319,694	97.9%
9	4,841	65.2%	318,370	67.8%
10	4,285	67.4%	279,336	68.7%
11	5,636	87.6%	352,453	85.6%
12	4,636	84.4%	336,437	88.6%
2022年 1月	4,876	83.8%	329,696	85.8%
2	5,270	80.8%	354,665	82.0%
3	8,110	79.2%	512,860	83.7%
4	4,534	85.0%	299,615	85.6%
5	4,074	84.5%	261,431	81.9%
6	4,878	89.8%	327,894	89.7%
7	5,101	90.3%	349,327	92.6%



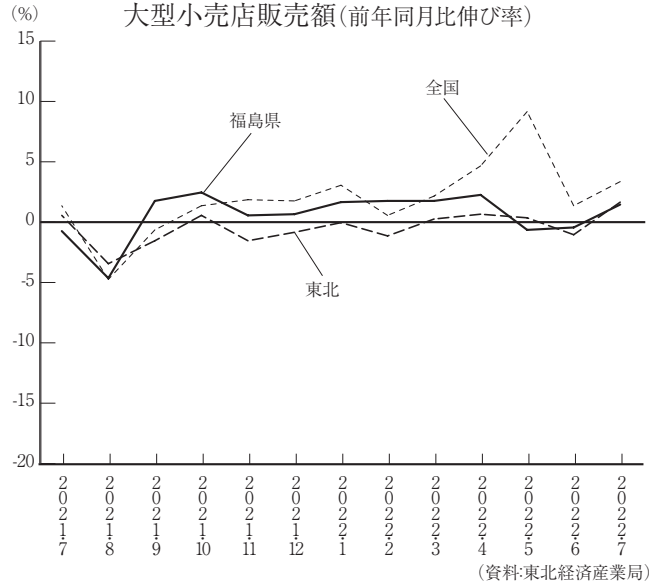
(資料:(一社)日本自動車販売協会連合会(福島県支部))

福島県大型小売店販売額

(単位:百万円,%) (単位:十億円,%)

	福島県		東北		全国	
	百万円	前年同月比	百万円	前年同月比	十億円	前年同月比
2021年 7 月	23,387	-0.8	110,726	0.5	1,713	1.3
8	24,013	-4.7	112,857	-3.5	1,607	-4.8
9	22,001	1.7	100,871	-1.6	1,556	-0.7
10	22,716	2.4	106,667	0.5	1,651	1.3
11	22,300	0.5	106,136	-1.6	1,707	1.8
12	28,408	0.6	133,580	-0.9	2,139	1.7
2022年 1 月	23,518	1.6	109,534	-0.1	1,676	3.0
2	21,380	1.7	97,791	-1.2	1,503	0.5
3	23,430	1.7	109,102	0.2	1,705	2.1
4	22,288	2.2	104,093	0.6	1,624	4.6
5	23,379	-0.7	108,594	0.3	1,680	9.1
6	22,458	-0.5	105,306	-1.1	1,673	1.3
7	23,720	1.4	112,465	1.6	1,770	3.3

大型小売店販売額(前年同月比伸び率)

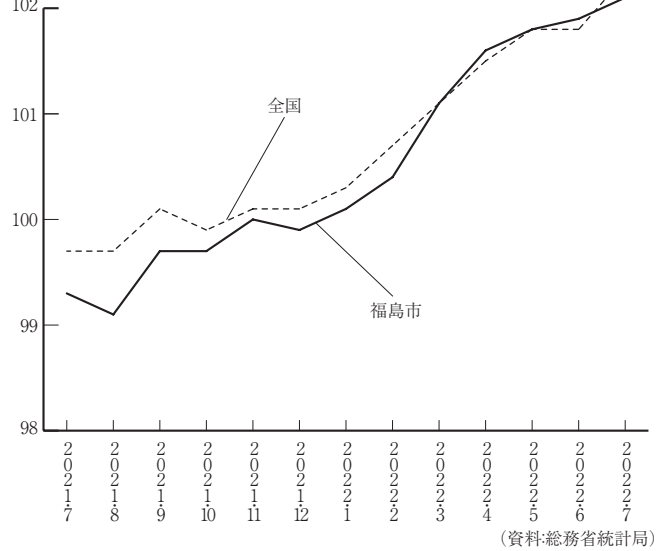


消費者物価指数

令和2年(2020年)=100

	福島市			全国
	指数	前月比	前年比	指数
2021年 7 月	99.3	0.3	-0.2	99.7
8	99.1	-0.2	-0.7	99.7
9	99.7	0.6	-0.2	100.1
10	99.7	-0.1	-0.2	99.9
11	100.0	0.3	0.4	100.1
12	99.9	-0.1	0.6	100.1
2022年 1 月	100.1	0.3	0.3	100.3
2	100.4	0.2	0.8	100.7
3	101.1	0.7	1.3	101.1
4	101.6	0.5	2.9	101.5
5	101.8	0.2	2.8	101.8
6	101.9	0.1	2.9	101.8
7	102.1	0.3	2.8	102.3

消費者物価指数



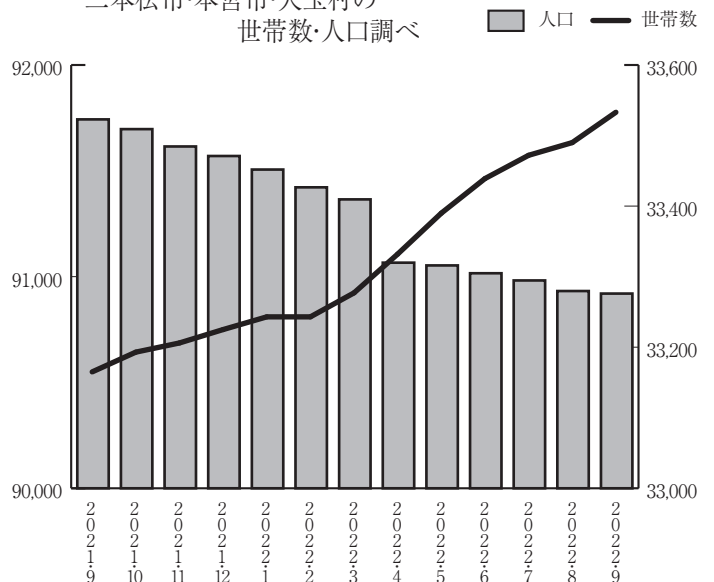
二本松市・本宮市・大玉村の世帯数・人口調べ 2022年 9月1日現在 (単位:戸,人)

区 分	世帯数	人口	男女別内訳		人口増減 (対前月)
			男	女	
本 宮 市	10,863	30,061	14,970	15,091	▲ 2
安達郡大玉村	3,052	8,744	4,340	4,404	10
総 合 計	33,533	90,920	45,011	45,909	▲ 11

(単位:%)

年齢別 構成比	年少人口 0~14歳	生産年齢人口 15~64歳	老年人口	
			65歳以上	75歳以上
二本松市	10.4	53.6	35.9	17.5
本 宮 市	12.5	58.3	29.2	14.3
大 玉 村	14.9	56.6	28.4	12.8

二本松市・本宮市・大玉村の世帯数・人口調べ



まつしん景況レポート特別調査

「中小企業におけるSDGs（持続可能な開発目標）の取組状況について」

問1-1 貴社では、SDGsについてどのような認知度にありますか。

	製造業	小売業	サービス業	建設業	全 体
内容までよく知っている	24.1%	8.9%	14.6%	12.2%	15.2%
意味はある程度わかる	62.1%	67.9%	58.3%	63.3%	63.0%
名前しか知らない	10.3%	19.6%	25.0%	24.5%	19.4%
聞いたことがない	3.4%	3.6%	2.1%	0.0%	2.4%

問1-2 貴社では、SDGsについて、どういった機関から情報を得ていますか。

	製造業	小売業	サービス業	建設業	全 体
報道機関（テレビ、新聞等）	75.4%	79.6%	83.0%	72.9%	77.7%
国、地方自治体	5.3%	3.7%	4.3%	8.3%	5.3%
商工会、商工会議所	8.8%	7.4%	4.3%	8.3%	7.3%
同業者団体（元受け含む）	0.0%	3.7%	2.1%	6.3%	2.9%
金融機関	5.3%	1.9%	4.3%	2.1%	3.4%
聞いたことがない	5.3%	3.7%	2.1%	2.1%	3.4%

問2 貴社では、これらの取組みを行っていますか。

	製造業	小売業	サービス業	建設業	全 体
（省エネ）省エネ、節電、再生可能エネルギーの使用	31.6%	35.8%	29.9%	20.4%	29.4%
（省資源）再生資源や未利用資源の利用、廃棄物削減、製品の長寿化や修理	17.5%	14.7%	18.4%	19.4%	17.5%
（水資源）水使用量削減、排水管理	6.1%	6.3%	8.0%	1.0%	5.3%
（森林資源）ペーパーレス化、緑化・植林	7.9%	6.3%	10.3%	7.1%	7.9%
（環境負荷）グリーン調達、カーボンオフセット、有害物質の削減	5.3%	3.2%	0.0%	5.1%	3.6%
（雇用）女性や高齢者、障がい者、外国人等の多様な人材の雇用	7.0%	7.4%	5.7%	5.1%	6.3%
（労働環境）研修の充実、働き方改革の実施	7.9%	2.1%	8.0%	10.2%	7.1%
（貧困対策・健康福祉）フェアトレード、途上国支援	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
（地域貢献）防犯、防災、寄付、まちづくり	7.0%	11.6%	9.2%	17.3%	11.2%
上記の取組みはしていない	9.6%	12.6%	10.3%	14.3%	11.7%

問3 貴社では、企業がSDGsに取り組むことについてどのような印象を持っていますか。

	製造業	小売業	サービス業	建設業	全 体
コスト削減につながる	35.2%	43.5%	40.0%	27.9%	36.6%
新規顧客が獲得できる	8.0%	7.2%	5.7%	10.3%	7.8%
取組まないと取引が切られる	3.4%	0.0%	1.4%	1.5%	1.7%
従業員の士気向上、採用容易化につながる	19.3%	5.8%	12.9%	17.6%	14.2%
自社が取組むには経営資源が不足	8.0%	7.2%	12.9%	7.4%	8.8%
コスト増になる	10.2%	5.8%	2.9%	7.4%	6.8%
自社には関係がない	2.3%	1.4%	0.0%	2.9%	1.7%
本業がおろそかになる	2.3%	1.4%	1.4%	1.5%	1.7%
その他	2.3%	2.9%	1.4%	5.9%	3.1%
よくわからない	9.1%	24.6%	21.4%	17.6%	17.6%

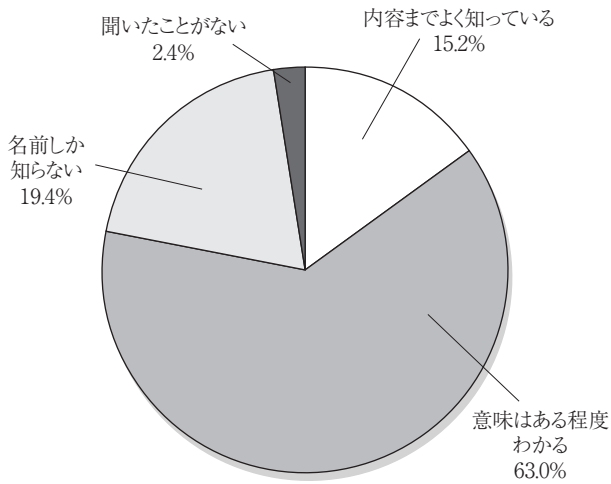
問4 SDGsの取組みの一つとして、カーボンニュートラル（温室効果ガスの排出の削減ならびに吸収作用の保全及び強化）に関する取組みがありますが、貴社で取組まれている施策は何ですか。

	製造業	小売業	サービス業	建設業	全 体
こまめな電源オフなど電気使用量の削減	43.5%	43.4%	40.5%	35.3%	40.7%
カーボンニュートラルにつながる商品の開発	0.0%	2.4%	1.3%	3.5%	1.8%
ごみの削減やリサイクルの推進	22.8%	21.7%	24.1%	22.4%	22.7%
電気自動車、ガソリン車以外の導入	6.5%	3.6%	6.3%	3.5%	5.0%
太陽光発電、再生可能エネルギーの導入	5.4%	3.6%	5.1%	10.6%	6.2%
環境負荷の少ない原材料等の利用	6.5%	4.8%	8.9%	8.2%	7.1%
温室効果ガスに関する行動目標の設定	0.0%	1.2%	1.3%	0.0%	0.6%
脱炭素に関する研究や勉強会の実施	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	0.3%
その他	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.3%
取組んでいない	15.2%	19.3%	11.4%	15.3%	15.3%

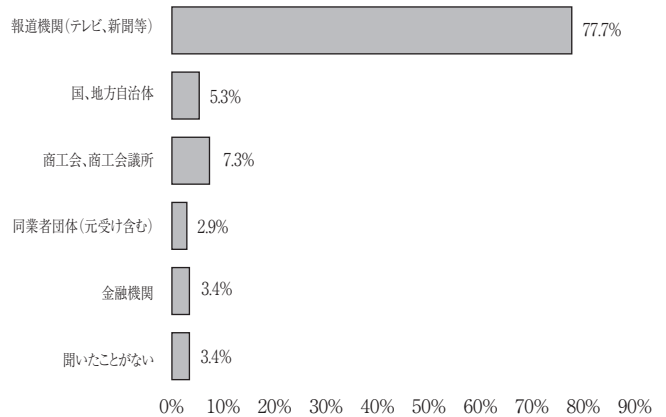
問5 SDGsについて、外部機関（公的、民間問わず。）からどのようなサポートを期待していますか。

	製造業	小売業	サービス業	建設業	全 体
経営者向け研修	20.0%	22.4%	40.5%	14.8%	24.0%
従業員向け研修	14.7%	10.5%	1.3%	13.6%	10.4%
自社取組みの認知度向上	5.3%	1.3%	24.1%	8.0%	9.5%
省エネ対応	18.9%	25.0%	6.3%	12.5%	15.7%
各種認証制度取得	6.3%	2.6%	5.1%	6.8%	5.3%
働き方改革などの人事制度改革	8.4%	1.3%	8.9%	14.8%	8.6%
多様な人材の雇用	8.4%	3.9%	1.3%	5.7%	5.0%
資金調達	5.3%	9.2%	0.0%	6.8%	5.3%
その他	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.3%
利用したい支援はない	12.6%	23.7%	11.4%	17.0%	16.0%

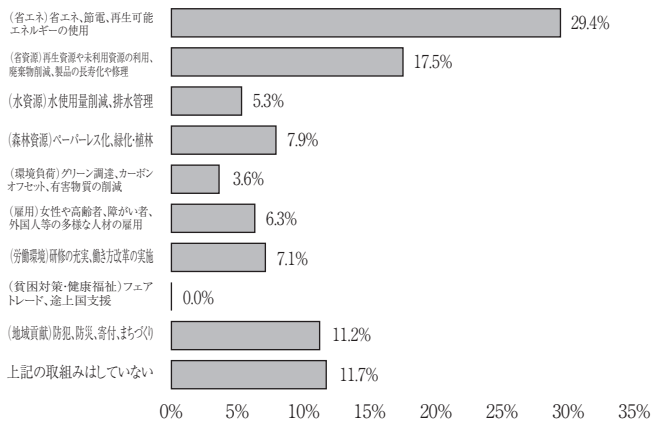
問1—1. 貴社では、SDGs（エスディーゼズ）についてどのような認知度にありますか。



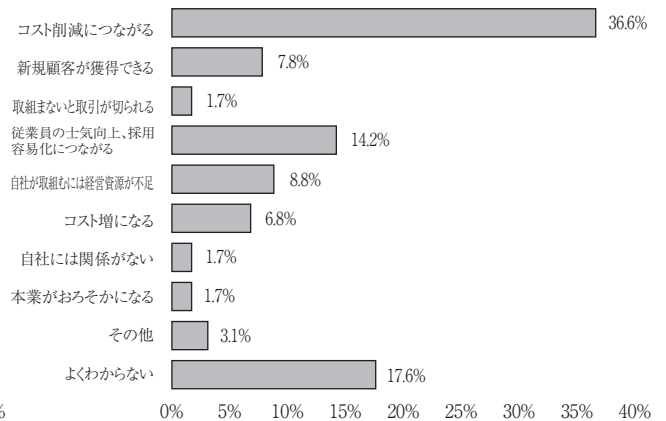
問1—2. 貴社では、SDGsについて、こういった機関から情報を得ていますか。



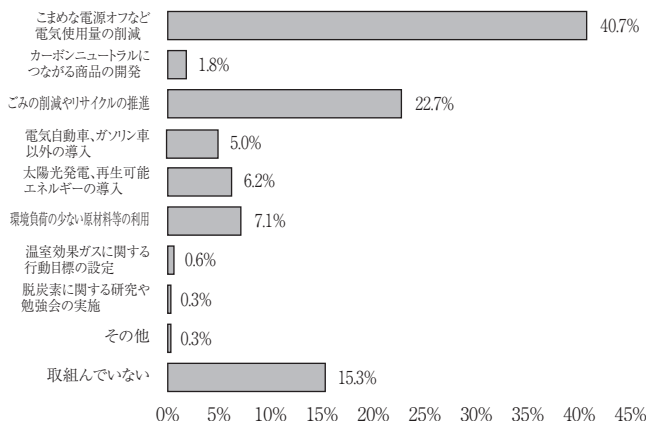
問2. 貴社では、これらの取組みを行っていますか。



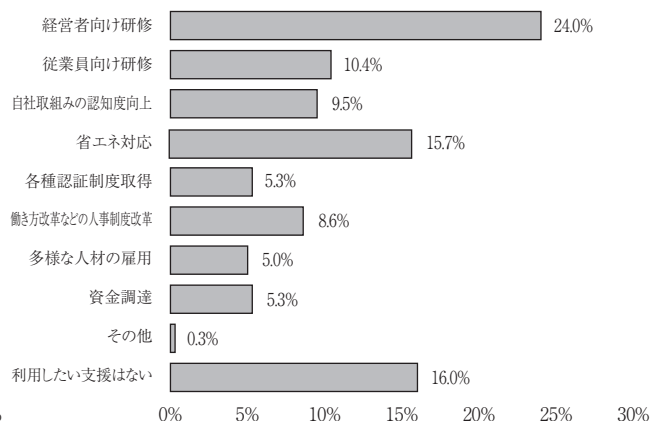
問3. 貴社では、企業がSDGsに取り組むことについてどのような印象を持っていますか。



問4. SDGsの取組みの一つとして、カーボンニュートラル(温室効果ガスの排出量の削減ならびに吸収作用の保全及び強化)に関する取組みがありますが、貴社で取組まれている施策は何ですか。



問5. SDGsについて、外部機関(公的、民間問わず)からどのようなサポートを期待していますか。



持っている
と安心

〈カードローンきゃっする〉

この街と生きていく

SHINKIN 信用金庫

Point

1

ご利用限度額の範囲内で
繰り返しご利用可能



急な出費



おまとめ



※ご利用限度額が変動する事もあります。

Point

2

全国のコンビニ
ATMで使えます!



※コンビニATMをご利用の場合は手数料が必要となります。
※ご利用可能なコンビニATMは信用金庫により異なります。

Point

3

しんきんATM 全国の
ゼロネットサービス 信用金庫ATM
このマークが目印

手数料 ¥0

手数料無料時間帯

平日 8:45~18:00の入出金

土曜 9:00~14:00の出金

※左記以外の時間帯
および日曜・祝休日
のATM利用には所定
の手数料が必要です。

※本サービスをご利用
いただけないATM
が一部あります。

※信用金庫により無料
時間帯・曜日が異なる
場合があります。

[定例返済]お借入残高に応じて、当月定例返済日にご指定の預金口座から自動的にお引き落とし致します。
[随時返済]定例のご返済に加え、お好きなタイミングで当金庫のATMよりご返済ができます。

● 契約内容をよくご確認ください。● 収入と支出のバランスを大切に。● 無理のない返済計画を。

お問い合わせはお近くのまつしんへ

本店営業部 ☎0243(23)1215

根崎支店 ☎0243(23)0022

本宮支店 ☎0243(33)2159

岩代支店 ☎0243(55)2233

東和支店 ☎0243(46)2104

安達支店 ☎0243(23)3456

金色支店 ☎0243(23)0880

まつしん景況レポート No.148

●発行/二本松信用金庫

〒964-0807 福島県二本松市金色久保227番地9

●発行年月/2022年11月(昭和60年1月 第1号)

●編集/経営企画部 ☎(0243)23-3696

●<http://www.matsushin.jp>